

## 第4学年1組 体育科（保健領域）学習指導案

令和3年11月12日（金） 第5校時 4年1組教室  
在籍児童数 男子13名 女子18名 計31名  
指導者 教諭 横田 昂祐（T1）  
養護教諭 加藤 敦子（T2）

1 単元名 「育ちゆく体とわたし ～もっと知ろう！ココロとカラダ～」

### 2 単元について

本単元は、体の発育・発達について、年齢に伴う変化及び個人差、思春期の体の変化について理解できるようにすること、体をよりよく発育・発達させるための生活の仕方について理解できるようにすることをねらいとしている。

また、「性に関する指導」のねらいは、人間尊重、男女平等の精神の徹底を図るとともに、人間の性に関する基礎的・基本的事項を正しく理解させ、同性と異性との人間関係や現在及び将来の生活において直面する性に関する諸問題に対して適切な意思決定や行動選択ができることとしている。

本単元では、自分の体の発育・発達について、発達の段階に応じた確かな知識と習得した知識の活用を目指し、自分の体の変化や個人による発育の違いなどについては、自分のこととして実感させ肯定的に受け止めさせるよう配慮する。この学習内容は中学校の保健体育科保健分野「心身の機能の発達と心の健康」の学習内容へとつながる単元である。

### 3 児童の実態

#### (1) 一般的な児童の実態

本学級は、男女の仲がよく、比較的落ち着いて生活できている。しかし、最近では、休み時間に男子は男子のみ、女子は女子のみと遊ぶ傾向が少しずつ出てきており、男女の差を意識し始めた様子である。また、身長や体重が着実に大きくなり、体つきにも変化が見られる児童がいる一方で、比較的伸びが少ない児童もおり、体格の差にも敏感になってきているようである。

これから少しずつ体が成長していくとともに、心も大きく変容していく児童にとって、自分の体の変化について、正しい知識を習得することは必要不可欠である。男子と女子の成長には違いがあることを認識し、異性であってもお互いを適切に理解しあえるような学習を進めていくことが大切であると考えます。

#### (2) 本単元に関わる児童の実態（アンケート調査から）

令和3年10月22日（月）実施

質問・回答	はい	いいえ
1 体育の保健の学習は好きですか	26	5
2 健康は大切だと思いますか。	31	0
3 大人と子どもの体はどこがちがうと思いますか。		
○身長 16人    ○体の大きさ 12人    ○骨 4人    ○声が低くなる 3人		

○力 2人 ○手足が長い 2人 ○骨の強さ 2人 ○胸がふくらむ 2人 ○歯 2人 ○体重 1人 ○食べる量 1人 ○筋肉 1人 ○体力 1人 ○体の丈夫さ 1人 ○骨の大きさ 1人 ○顔の大きさ 1人 ○毛が多い 1人 ○握力 1人			
4	自分の体が大人に近づいてきたと感じることはありますか。	15	16
5	(4ではいと答えた人) それはどんなとき・どんなことですか。 ○身長が伸びてきた 4人 ○胸がふくらんできた 2人 ○体重が増えてきた ○声が大人っぽくなってきた ○体重が増えてきた ○歯が生え変わった		
6	自分の体の成長について、考えたり、悩んだりすることはありますか。	5	26
7	(6ではいと答えた人) それについて何か不安に思ったり、悩んだりすることはありますか。 ○自分の身長がのびないで、小さいままだったらどうしようと思う ○背が小さく、大人になってもそのままだと思う ○生理のとき ○友達よりもくつのサイズが小さい ○よくねむれないことがある		
8	お家の人(兄弟・姉妹をふくむ)と自分の体の成長について、話をしたことがありますか。	11	20
9①	異性と意識せずに手をつなぐことができる。	8	23
9②	男子と女子で意見が合わないことがある。	19	12
9③	異性と話すことは、はずかしい。	13	18
9④	友だちとの会話で異性の話題が出ることもある。	9	22
9⑤	異性にちょっかいを出して怒らせてしまうことがある。	5	26
9⑥	異性の前では、話せなくなってしまうことがある。	5	26
9⑦	異性ともっと親しくなりたいと思う。	24	7
10	自分の体の成長について学習することはどれくらい大切か。 - 5 (まったく大切だと思わない) ~ 5 (とても大切だと思う)	4. 387	

事前アンケートの結果から、保健の学習に意欲的な児童が多いことがわかった。また、児童は健康が大切であるということを知っている。

本単元に関わる体の変化については、身長や体の大きさなどの目に見える変化に意識が偏っており、自分の体に対しては実感を伴って変化を感じている児童は半数程度であることがわかった。「自分の体の成長」について学習する大切さに関しては、数値化してみると児童の関心が非常に高いということもわかった。しかし、「体の成長について考えたり悩んだりする」という質問に対しては、多くの児童が悩みはないと答えている。このことから、「自分の体の成長」について不安に思ったりすることがない児童にとっては、本単元の学習を他人事として捉えてしまう可能性があると考えられる。

## 研究主題 「主体的に取り組み、学びあう児童の育成」

### 副題 ～互いに認め合い、レベルアップできる実践～

#### (1) 知識, 技能

体育科における保健の学習では、児童に身に付けさせたい資質・能力として、「様々な健康課題、自然災害や事件・事故等の危険性、健康・安全で安心な社会づくりの意義を理解し、健康で安全な生活を実現するために必要な知識や技能を身に付ける」とある。本単元の指導にあたっては、年齢に伴って体や体つきが変化すること、体の発育・発達には、調和のとれた食事、自分に合った適切な運動を適度に続ける習慣、十分な休養・睡眠が必要であること、思春期になると体に変化が起こり、異性への関心も芽生えること、体の発育・発達には個人差があることなどを理解できるようにする。そのために、専門性を有する職員（養護教諭）の参加・協力を推進し、より詳しく授業を展開することで児童の内容理解へと結び付けていく。

#### (2) 思考力, 判断力, 表現力等

児童に身に付けさせたい資質・能力として「自らの健康や安全の状況を適切に評価するとともに、必要な情報を収集し、健康で安全な生活を実現するために何が必要かを考え、適切に意思決定し、それを表す力を身に付ける」とある。そのために、体は年齢とともに発育・発達し変化していくことや、発育のしかたは男女や個人によって違いがあることを、生まれてからこれまでの自分の身長をグラフにしグループで他者と比較することや、教科者の図や写真、データを基に比較することで、考えられるようにする。また、よりよい発達・発育には、調和のとれた食事、自分に合った適切な運動を適度に続ける習慣、十分な休養・睡眠が必要であることを児童の日常生活（学校給食や休み時間等）と比較させ、考えられるようにする。

#### (3) 学びに向かう力, 人間性等

児童に身に付けさせたい資質・能力として「健康や安全に関する様々な課題に関心を持ち、主体的に、自他の健康で安全な生活を実現しようとしたり、健康・安全で安心な社会づくりに貢献しようとしたりする態度を身に付ける」とある。そのために単元の導入部分では、児童のアンケートを活用することで、児童の興味や関心を引き出し、学習意欲を喚起する。また、児童の主体性を育むために、児童一人一人の身長伸びを表したテープを渡し、自分だけのグラフを作成することで主体的に学習する過程を組み込む。その際には、同性や異性の「友達の体の成長」についても、温かみのある寛容な気持ちで接することのできる態度の育成を目指す。単元の終盤では、学習したことを自分の生活に当てはめて課題を見付け、これからの生活の仕方について、解決方法を考える活動を取り入れることで、より健康的な生活が送れるような態度の育成を目指す。

#### 新型コロナウイルス感染症対策

- ①授業前に全児童の手の消毒。 ②マスクの着用の徹底。
- ③話し合いの際には、必要以上の大きな声を出さないよう指導する。

(4) 研究の仮説及び手立て

**仮説① 「できる」「わかる」を多く味わうことができれば、児童一人一人が主役となって体力を高めることができるであろう。**

○成長を可視化できる教具

・体は年齢に伴って成長すること、体つきや体の成長には個人差があることを理解させるために、身長伸びが示されたテープを友だちと比べたり、学年ごとの伸びをグラフにする活動を取り入れたりしながら、成長を可視化して比較検討させる。

○アドバイスづくりで、知識の定着

・習得した知識の定着や活用を目指し、テーマに沿った話合いや事例に対するアドバイスづくりなどの言語活動を充実させる。

○養護教諭との連携

・児童の学習に対する興味や関心を高めたり、児童の実態に合った支援をより効果的にしたりするため、養護教諭とチームティーチング（TT）で授業に取り組む。体の発育・発達については養護教諭の専門性を、十分に活用しながら授業を展開する。

**仮説② 仲間と共に学ぶ楽しさを味わわせ、自己有用感や集団所属感を持たせれば、児童一人一人が主役となって体力を高めることができるであろう。**

○児童アンケートの活用

・単元の導入では、単元全体の学習内容について見通しをもたせるとともに、児童アンケートを活用することで、これから迎える体と心の変化をより身近に感じられるようにし、集団所属感を持たせる。

○クイズ化、ゲーム化

・児童は自分や友だちの体について、恥じらいを感じることも出てくると考えられるため、学習活動をクイズ化、ゲーム化して楽しさを味わうとともに、恥ずかしさを和らげる。

○グループによる話し合い活動

・友達との比較や話し合いを通して、仲間と共に学ぶ楽しさを味わいながら、成長には個人差があることなどを理解できるようにする。

**【目指す学級像】**

- ・お互いの成長を認め合えるクラス
- ・仲間と協力し、よりよい成長について考えられるクラス

5 単元の目標

- (1) 体の発育・発達について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解することができるようにする。 **【知識】**
- (2) 体がよりよく発育・発達するために、課題を見付け、その解決に向けて考え、それらを表現することができるようにする。 **【思考力、判断力、表現力等】**
- (3) 体の発育・発達について関心をもち、学習活動に意欲的に取り組もうとすることができるようにする。 **【学びに向かう力、人間性等】**

6 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>① 体の年齢に伴う変化や個人差について理解したことを言ったり、書いたりしている。</p> <p>② 思春期には、体つきに変化が起こり、人によって違いがあるものの、男女の特徴が表れることについて、言ったり、書いたりしている。</p> <p>③ 思春期には、初経、精通などが起こること、異性への関心も芽生えること、これらは個人によって早い遅いはあるものの、誰にでも起こる大人の体に近づく現象であることについて、言ったり、書いたりしている。</p> <p>④ 体をよりよく発育・発達させるための生活の仕方には、調和のとれた食事、適切な運動、休養及び睡眠が必要であることについて、言ったり、書いたりしている。</p>	<p>① 体の発育・発達について、資料や友達の話など基に、課題や解決の方法を見付けたり、選んだりするなどして、それらを説明している。</p> <p>② 体の発育・発達について、学習したことを自分の成長や生活と比べたり、関係を見付けたりするなどして、それらを説明している。</p>	<p>① 自分と友達の身長伸び方について、資料を基にして比べたり、話し合ったりするなどの学習活動に進んで取り組もうとしている。</p> <p>② 体の発育・発達について、課題の解決に向けての話し合いや発表などの学習活動に進んで取り組もうとしている。</p>

7 単元の計画

(1) 領域（保健）の取り上げ方

第3学年	けんこうな生活	4時間	
第4学年	育ちゆく体とわたし	4時間	
第5学年	心の健康	3時間	けがの防止 5時間
第6学年	病気の予防	8時間	

(2) 指導と評価の計画 (全4時間) 本時は○印

時	学習のねらい・活動	知・技	思・情・表	態	評価方法
①	<p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 体の年齢に伴う変化や個人差について理解したことを言ったり、書いたりすることができる。</li> <li>• 自分と友達の身長伸び方について、資料を基にして比べたり、話し合ったりするなどの学習活動に進んで取り組もうとすることができる。</li> </ul> <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 並び順クイズ Part1 をする。(1年生の時の身長順)</li> <li>2 並び順クイズ Part 2 をする。(1年生から4年生までの身長の伸び順)</li> <li>3 1年毎の身長の伸びを示した紙テープ (のびのびテープ) を友達と比べ、気付いたことを話し合う。</li> </ol> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>&lt;指導すべき内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 身長や体重は、年齢に伴って変化すること。</li> </ul> </div> <ol style="list-style-type: none"> <li>4 1年ごとの身長の伸びを表した紙テープを切り取り、学習カード (透明シート) にグラフ (成長グラフ) を作る。</li> <li>5 友達と比較して気付いたことを話し合う。</li> <li>6 身長が急に伸びる時期や変化する量は一人一人違うことを知る。</li> </ol> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>&lt;指導すべき内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 体の変化には個人差があること。</li> </ul> </div> <ol style="list-style-type: none"> <li>7 学習のまとめをする。</li> </ol>	①		①	<p>話し合い活動の観察 ワークシート 記入内容</p> <p>観察・ ワークシート 記入内容</p>
2	<p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 思春期には、体つきに変化が起こり、人によって違いがあるものの、男女の特徴が現れることについて、理解したことを言ったり書いたりすることができる。</li> <li>• 体の発育・発達について、学習したことを自分の成長や生活と比べたり、関係を見付けたり選んだりするなどして、それらを説明することができる。</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 「体つきクイズ」を行い、男女の体つきの違い</li> </ol>				

	<p>(体の外側の変化)について考える。</p> <p>2 「思春期の体の変化キーワードゲーム」をしながら、思春期に起こる変化について話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;指導すべき内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 思春期には、体つきに変化が起こり、人によって違いはあるものの、男子はがっちりとした体つきに、女子は丸みのある体つきになるなど男女の特徴が現れること。</li> <li>• 思春期には、変声、発毛が起こること。</li> </ul> </div> <p>3 データ資料をみて、体の変化が起こる時期については、個人差があることを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;指導すべき内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 個人によって早い遅いがあるものの誰にでも起こる、大人の体に近づく現象であること。</li> </ul> </div> <p>4 自分の成長を想像する。</p> <p>5 成長について個人差を感じた体験談を聞く。</p> <p>6 学習のまとめをする。</p>		②		話し合い活動の観察 ワークシート 記入内容
3	<p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 思春期には、初経、精通などが起こること、異性への関心も芽生えること、これらは個人によって早い遅いはあるものの、誰にでも起こる大人の体に近づく現象であることについて、言ったり書いたりすることができる</li> <li>• 体の発育・発達について、資料や友達の話などを基に、課題や解決の方法を見付けたり、選んだりするなどして、それらを説明することができる。</li> </ul> <p>II 学習活動</p> <p>1 「声当てクイズ」を行い、体の中の変化について考える。</p> <p>2 初経や精通について知る。</p> <p>3 体の中に起こる変化について考える。</p>		①		発言の観察 ワークシート 記入内容

	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>&lt;指導すべき内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思春期には，初経，精通が起こること。</li> <li>・初経や精通は，個人によって早い遅いがあるものの誰にでも起こる，大人の体に近づく現象であること。</li> </ul> </div> <p>4 事例(隣の異性と手をつないでみよう)をもとに思春期には，異性への関心が芽生えることを知る。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>&lt;指導すべき内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思春期には，異性への関心も芽生えること。</li> <li>・異性への関心は，個人によって早い遅いがあるものの誰にでも起こる，大人の体に近づく現象であること。</li> </ul> </div> <p>5 学習のまとめをする。</p> <p>6 学習した内容を活用し，将来の自分へのメッセージを考える。</p>	③		ワークシート 記入内容 発言の観察
4	<p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体をよりよく発育・発達させるための生活の仕方には，調和のとれた食事，適切な運動，休養及び睡眠が必要であることについて，言ったり書いたりすることができる。</li> <li>・体の発育・発達について，課題の解決に向けての話し合いや発表などの学習活動に進んで取り組もうとすることができる。</li> </ul> <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 よりよく発育・発達するために必要なことを話し合う。</li> <li>2 給食の献立から，体がよく育つために必要な食べ物について調べる。</li> <li>3 よりよい成長に必要な運動の仕方について話し合う。</li> <li>4 休養と睡眠の役割について資料で調べる。</li> <li>5 学習したことを自分の生活に当てはめて課題を見付け，これからの生活の仕方について，解決方法を考える。</li> </ol>	④	②	ワークシート 記入内容  ワークシート 記入内容



<div style="border: 3px double black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>&lt;指導すべき内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体をよりよく発育・発達させるための生活の仕方には、調和のとれた食事、適切な運動、休養及び睡眠などが必要であること。</li> </ul> </div> <p>6 学習のまとめをする。</p>				
---	--	--	--	--

9 本時の学習と指導（1 / 4）

(1) ねらい

- ・体の年齢に伴う変化や個人差について理解したことを言ったり、書いたりすることができる。

【知識及び技能】

- ・自分と友達の身長伸び方について、資料を基にして比べたり、話し合ったりするなどの学習活動に進んで取り組もうとすることができる。

【学びに向かう力、人間性等】

(2) 資料及び準備するもの

ワークシート、透明シート、のびのびテープ、成長グラフ、掲示資料

(3) 展開

時間	学習内容・活動	指導上の留意点 ◎研究との関わり ○指導 ◆評価規準 ☆振り返りチェック 10に関する重点 ★感染拡大防止のための手立て T 1（学級担任） T 2（養護教諭）
導  入  10  分	<p>1 「並び順クイズ Part1」を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>この4人の友達は、ある順番に並んでいます。何の順番で並んでいると思いますか。</p> </div> <p style="text-align: center;">〈予想される児童の反応〉</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・足の速い順。</li> <li>・4月からの誕生日順。</li> <li>・保健室に通うのが多い順。</li> <li>・1年生の時の身長順。</li> </ul> </div> <p>2 「並び順クイズ Part2」を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>この4人の友達は、今度は違う順番で並んでいます。何の順番で並んでいると思いますか。</p> </div>	<p>○T 1 入学時の身長を事前に調べ、現在の身長と逆転している事例を準備しておく。</p> <p>○T 1 入学時の身長順を示し、現在の順と変化していることに注目させる。</p> <p>◎クイズ化、ゲーム化により、仲間と学ぶ楽しさを味わわせる</p> <p>○T 1 入学時からの身長の伸びを事前に調べ、先程と同じ4名の児童を、身長の伸び順に並び替える。</p> <p>○T 2 入学時から4年生までの身長の伸びを表したものが「のびのびテープ」であることを説明する。</p>

<p>導 入 10 分</p>	<p>3 事前にとったアンケートで多かった回答を見て、本単元で学習する内容の見通しをもつ。</p> <p>4 本時の学習のねらいを知る。</p>	<p>○T 1 先程のクイズで並んだ順とも、現在の身長の間とも違ふことをおさえる。</p> <p>○T 1 身長を抜かされてしまった児童の気持ちを聞き、次の児童アンケートに結び付ける。</p> <p>○T 1 事前のアンケートで多かった回答を提示し、体の変化について、みんなが同じような悩みや不安を抱えていることを共有し、より身近な学習課題として捉えられるようにする。</p> <p>◎児童アンケートにより、心と体の変化を身近に感じることができ、集団所属感が持てる。</p> <p>☆本時のねらいや課題を明確にし、学習の見通しを持たせ 導入している。</p>
<p>わたしたちの体は、どのように変わってきているのだろうか</p>		
<p>展 開 25 分</p>	<p>5 のびのびテープを使って、これまでの自分の伸びを確かめ、友達と比較する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>このテープの長さは、みなさんが入学したときから4年生までに伸びた身長の長さを表しています。自分の伸びと班の友達の伸びを比べてみましょう。</p> </div> <p>6 のびのびテープを使って、グラフを作り、気付いたことを書く。 (予想される児童の反応)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身長が高い人は、毎年たくさん伸びている。</li> <li>・身長が低い人は、毎年あまり伸びていない。</li> </ul> </div> <p>7 自分の成長グラフと班の友達の成長グラフを比べ、共通点や相違点について話し合う。</p>	<p>○T 1 入学時から4年生までの身長の伸び順を示し、自分の身長の伸びにも興味を持てるようにする。</p> <p>◎成長を可視化したテープを渡すことで、自分の成長を実感できるようにする。</p> <p>○T 1 全く成長していない人や、身長が縮んだ人がいないことをおさえる。</p> <p>○T 1 現在の身長と伸び具合は、どのような関係があるか予想を立てる。</p> <p>○T 1 児童同士がお互いのグラフを重ねて比較できるように、透明シートにグラフを作る。</p> <p>○T 1 児童が自分のグラフを見て気づいたことを記入する。</p> <p>○T 1 話し合っただ意見や、友達との交流で気づいたことは、ワークシートに書き込むことを指示する。</p>

8 班で話し合ったことを発表する。

〈予想される児童の反応〉

- ・人によってグラフの形が違う。
- ・みんな大きくなっているのは同じ。
- ・身長が高い人は必ず身長の伸びが一番大きいというわけではなかった。
- ・男女での伸び方に大きな違いはない。
- ・一番伸びた学年は人それぞれだった。

9 身長と体重の変化を表したグラフを使って、身体の成長について考え、身長や体重は年齢に伴って変化することを知る。

〈指導すべき内容〉

- ・体の変化には個人差があること。
- ・身長や体重は、年齢に伴って変化すること。

○T 2 話し合いでは違いを肯定的に受け止められるよう、助言する。

★鼻までマスク着用の徹底し、必要以上の大きな声を出さないことを指導する。

◎話し合い活動を行うことで、仲間と学ぶ楽しさを味わい、集団所属感を持たせ、成長の個人差について理解できるようにする。

◆自分と友達の身長の伸び方について、資料を基にして比べたり、話し合ったりするなどの学習活動に進んで取り組もうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】

「努力を要する」状況（C）と判断された児童への手立て（支援）

- ・毎年の伸びの長さやグラフの形など、自分と友達との違いに着目させる。

○T 1 共通点や相違点に着目しながら発表させる。

☆ねらいに迫るため、話し合いの場を工夫する。

○T 2 入学時から4年生までの身長と体重の変化を表したグラフを提示する。

○T 2 身長が伸びることは、骨や筋肉、臓器なども伴って成長するため、体重の増加も自然な変化であることを伝える。

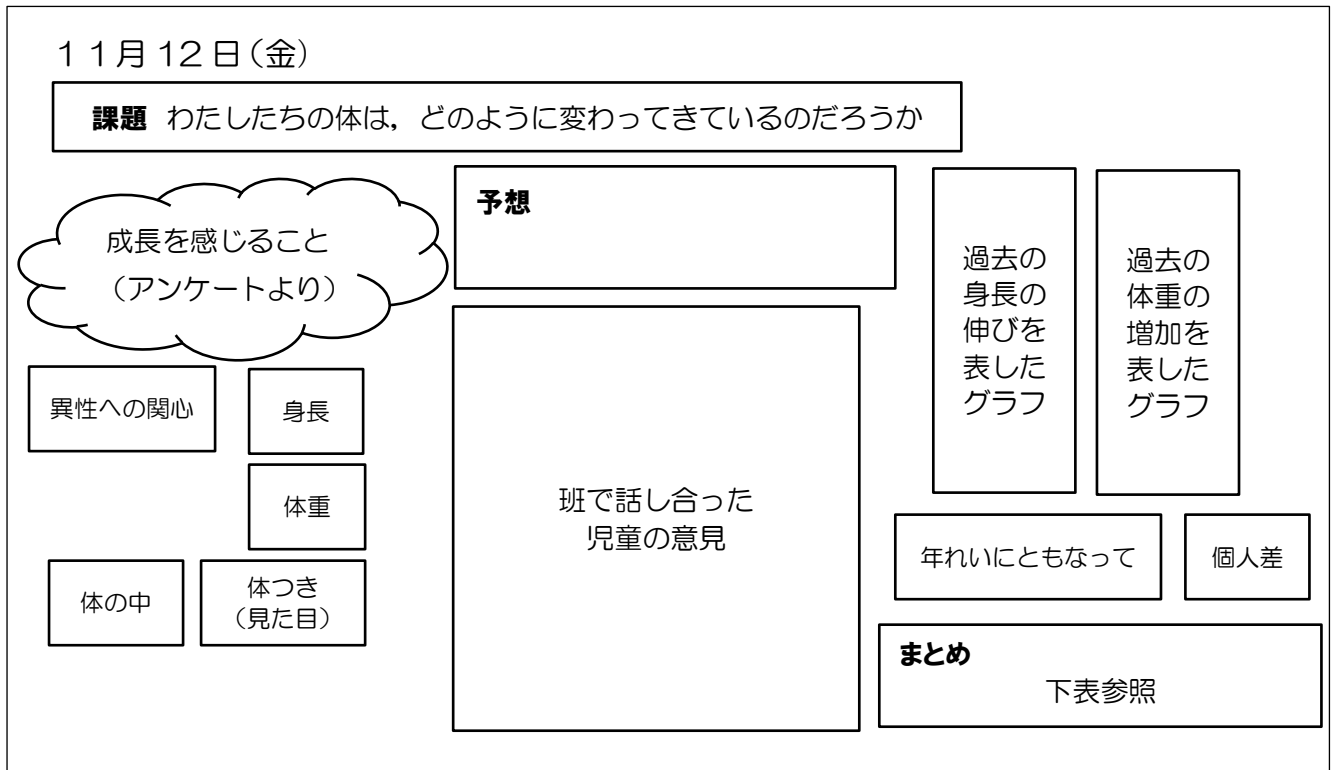
○T 2 人それぞれの違いを個人差ということ、体の変化には個人差があることを理解させる。

○T 2 身長や体重は、年齢が伴って変化する自然なことであることを説明する。

◎養護教諭による専門的な指導により、「わか

		る」を味わわせることで、ねらいにつなげる。
ま と め  10 分	<p>10 ワークシートを使って、体の変化について、学習のまとめをする。</p> <p>11 事前のアンケートから、体の成長について多かった悩みを紹介し、アドバイスを考える。(ふりかえり)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【本時の学習のキーワード】 ◇年齢にともなって ◇個人差</p> </div>	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>◆体の年齢に伴う変化や個人差について理解したことを言ったり、書いたりしている。 【知識及び技能】</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>「努力を要する」状況(C)と判断された児童への手立て(支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•これまでの学習内容を、学習カードや黒板の板書などで振り返らせ、確認させる。</li> </ul> </div> <p>○T2 学習カードに記入した内容を、全体で確認する。</p> <p>○T1 本時で学習したことを活用できるよう、アドバイスにキーワードを使って作るように伝える。</p> <p>○T2 体の成長についての悩みを考えることで、体の変化に対する不安や悩みは、個人差はあるが、誰でも経験することを伝え、不安を軽減させられるようにする。</p> <p>○T1 肯定的な感想が書けている何人かに発表させ、内容を共有することで、自分を大切にす気持ちにつなげる。</p> <p>◎アドバイスづくりということで、児童一人一人が主役となり、「できる」を多く味わえるようにする。</p> <p>☆振り返りの場を設け、学習内容の定着を図り、次の学習につなげている。</p> <p>T1 ○次の時間の予告をする。</p>

10 板書計画



11 資料

**まとめ**

身長や体重は（ 年れい ）が上がっていくにつれて、のびたり増えたりしていきます。  
（ 身長 ）が急にのびたり、（ 体重 ）が急に増えたりする時期は、ひとりひとり違います。  
また、変化する量もちがいます。このような、人によるちがいを（ 個人差 ）といいます。